せんごくの里ニュース ふなで

2016年1月　第14号
社会福祉法人大阪福祉事業財団
せんごくの里
発行責任者:所長　永田美子
〒597-0051　貝塚市王子1183-3
TEL(072)437-1075
FAX(072)437-1076

2016年 新しい年を迎えて

新年おめでとうございます。昨年も悲喜こもごも、色々な事がありました。

2年ぶりに新しい利用者を迎えた事や、長く勤めてくれた職員の退職、主任との出会いや関わりの異動など、人の中で、利用者も職員も互いに影響し合い人間力を高め合っていく、そんな日々の連続だったように思います。

昨年2015年度には基本報酬単価が軒並み減額になり、運営は一層厳しさを増しました。

今後2018年度に予定されている次期報酬改定に向けては、もうすでに1月からの通常国会に「障害者総合支援法施行3年後の見直しについて」の法改正案が提案される予定になっています。

また「社会福祉法改正案」は昨年衆議院を通過し、現在参議院で継続審議扱いとなっています。新年早々、国会審議の動向から目が離せない状況です。

障害者権利条約を批准しながらも公的責任を空洞化させ、福祉のサービス化・企業参入を促進し、平和憲法がありながらも安全保障法制を強行する政府は、国民の一人ひとりを人間として大切にしようとしているのだろうかと強い疑問を覚えます。

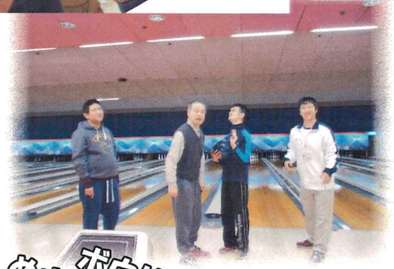
平和であってこそ、高齢でも、障害があっても人として誰もが尊重され、その人らしく主体的に人生を輝かせる事ができる。それが国民を大切にする本当の意味での1億総活躍社会だと思います。

設立から5年の節目の時期に、福祉情勢の逆風を押し返す様、将来に向けての確かな一歩を踏み出す年になるよう努力して参りたいと思います。本年も宜しくお願い申し上げます。

みんなの笑顔があふれん事を願って。

せんごくの里　施設長
永田美子

楽しかったクリスマス会
2015年12月25日



第4回貝塚ひびきあいまつり

署名・募金にご協力を…

きょうされんでは障害者と家族の願いに応える制度づくりのために、関係者の声を届ける署名の取り組みを毎年行っています。

12月から第39次国会請願署名・募金運動が始まっており**「あたりまえに働き、えらべるくらしを～障害者権利条約を地域のすみずみに～」**をスローガンに活動がすすめられています。

2014年1月に日本政府は障害者権利条約を批准し、当事者や関係団体から大いに期待を寄せられました。しかし現実の動きはその趣旨からかけはなれたものと言わざるを得ません。障害のある人がない人と同水準の権利を持ち、地域で安心して暮らす社会の実現に向け、きょうされん運動へのご協力をどうぞよろしくお願い致します。

2016年も力を合わせてがんばります

昨年は、職員の知人のカフェでの販売や泉佐野市役所での販売会をはじめ、恒例の公民館まつり・貝塚ひびきあいまつりなどイベントでの販売に積極的に取り組みました。

販売会を重ねるたびに、「どこにあるパン屋さん？」から「あ～、あそこのパン屋さんやね！知ってる。」「美味しいって聞いたから1回買ってみるわ。」というふうにお客様との会話も変わってきました。

カフェスタッフのみんなも販売会から戻ると「今日は売れた？」とその日の販売状況が気になるようで、完売した日は「やったー！」と大喜びしています。

オープンして5年…。これからも、ちょっと寄ってみたくなるような、カフェ＆ベーカリー“白いくも”を目指して頑張ります。

いきいき班

１１月１５日（日）に第４回貝塚ひびきあいまつりで自主製品を販売しました。

まつりに向けてどんな商品に仕上げようかとみんなで考えました。主力商品の紙すきを「何色にしようか？」などと話しながら頑張りました。

今年は、その紙すきを使った『お箸袋』を新商品として自主製品コーナーに出品しました。お正月に使ってもらうように、明るい色合いの商品ができました。作った商品をラッピングして「売れますように」と手にとって見つめていました。結果、大好評で、みんなで喜び合いました。

これからもいろいろな商品を作っていきますのでご期待ください。

わくわく班

毎年１０月は業者さんの棚卸などで、下請け作業が少ない日が２週間位あります。

散歩したり、近くのコスモス畑を見に行ったり、久しぶりにドライブにも行きました。こすもすの里では、柿狩りをしました。大きな柿の木に鈴なりに実がなり、それを皆で落として柿を持ち帰り干し柿を作りました。とっても楽しかったです。

１１月に入るとタオルや急ぎの仕事が入荷し、来所するとすぐに作業にとりかかる事が多くなりましたが、いつも「いいよ～」快く引き受けてくれました。

まだまだ忙しい日が続きますが、皆で力を合わせて頑張っています。

平沼　佑太（1992年11月4日）

みんなと一緒にボール遊びや工作を楽しみたい。お仕事もがんばるぞ～。

中岡　潤忠（1992年10月17日）

明けましておめでとうございます。申年の僕です。コーヒー淹れ頑張っているので、白いくもに来てください。

ちょっと遠出して、こうなりたいと思うcaféスタッフの接客を勉強していきたいです。韓国語の勉強を再開して、生野にあるcaféに行ってみたいです。

雑賀　恵美（1980年6月13日）

「みやの　かずひと　お仕事頑張ります！！」
あかるい家にも元気に行きます。

宮野　和仁（1992年4月22日）

音楽療法 vol.9

あけましておめでとうございます。本年もミュージック・ケア（M・C）で皆様とご一緒できることを楽しみにしています。今回は９回目のお話しです。

M・Cでは音楽が聴こえる空間全てをセッションの場と考えます。集団活動が苦手でセッションの部屋に入ることが難しい方は、廊下で職員さんと一緒に参加されています。

「セッションの輪に居ないから参加できていない」、とは考えません。皆さんと少し離れた場所に居ることで安心できるのでしたら、それが最も良い方法だと考えます。

職員さんはメンバーさんの状態を良くご存知なので、少ししんどそうな場合は自然な形で廊下へお誘いして、その方に合わせて関わりながら「ほら、皆と一緒にやってるよ。」というメッセージを送ってくださいます。

音楽は空間を一つにする力を持っています。一人ポツンと廊下から部屋の様子を見ていても楽しくありませんが、関わりがあるから気持ちがセッションに向くのです。M・Cでは音楽と活動と関わりの三つが揃うことで効果が期待できると考えます。どれか二つではなく三つ、というところが大切なんですね。

次回はどんなお話しをしましょうか。お楽しみに・・・。